



練習帆船「海王丸」が名古屋港に入港し、歓迎記念式典が開催されました

平成28年11月11日、海技教育機構が所有する練習帆船「海王丸」が名古屋港ガーデン埠頭3号岸壁に入港し、歓迎記念式典が開催されました。海王丸には118名の実習生が乗船していますが、内90名余りの実習生は来年4月から船員として各地で活躍されるそうです。



入港当日の午後、鈴木中部運輸局長は海王丸の船長 渡邊兼人 氏、機関長 中村昭敏 氏、一航士 水溜青雲 氏による表敬訪問を受けました。会談では、海事思想の普及や若年船員の育成に向けての取り組みなど幅広く意見交換を行いました。



海王丸の入港は、帆船ということもあって注目度も高く、多くの市民が見学を訪れます。今回の入港式典には市内から大勢の園児が参加し、船内見学も実習生がお世話をしていました。

子供たちにとっては、帆船のすばらしさはもちろん、士官や実習生とのふれあいは一生の思い出になると思います。海洋立国日本の未来はこうした子供たちによってつくられます。中部運輸局としても海事思想の普及や海洋教育推進を積極的に支援していくこととしています。

海王丸は、11月16日まで名古屋港ガーデン埠頭に停泊し、出港は11月16日10時を予定しています。次の寄港地は徳島県小松島市の小松島港です。

